

広域植生図の作成

資料名	生物多様性センターホームページ (http://www.vegetation.jp/)
調査主体	環境省
評価項目	3. 遺産登録時の生物多様性が維持されていること 6. エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと
管理目標	遺産登録時（現状並み）時点の生態系の状態を維持
モニタリング項目	特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握
評価指標	植物群落の状況
評価基準	人為的変化を起こさぬこと

<平成20年度までの具体的調査手法>

現地調査と空中写真の判読により、1/2.5万の植生図を整備している。1ha以上の群落については把握を行っている。平成19年度までの調査で合計1,683面（全体の39%）の植生図が整備されており、うち983面はGISデータ化を行っている。知床半島の図面は2005年度に整備済み。

<平成20年度までの具体的調査データ例>

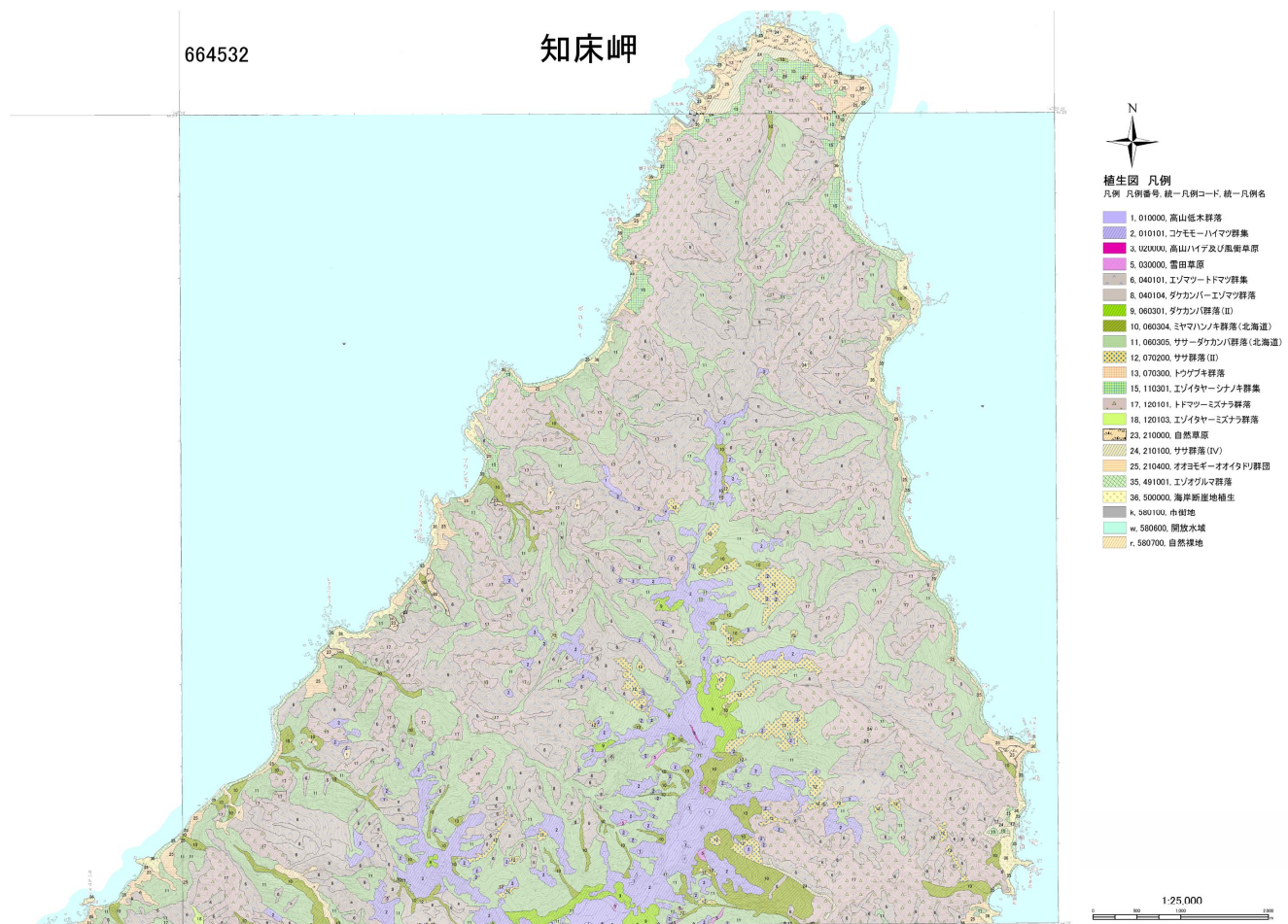


図1 植生図（知床岬） <http://www.vegetation.jp/miru/6645/664532.html> より引用

硫黄山

664511

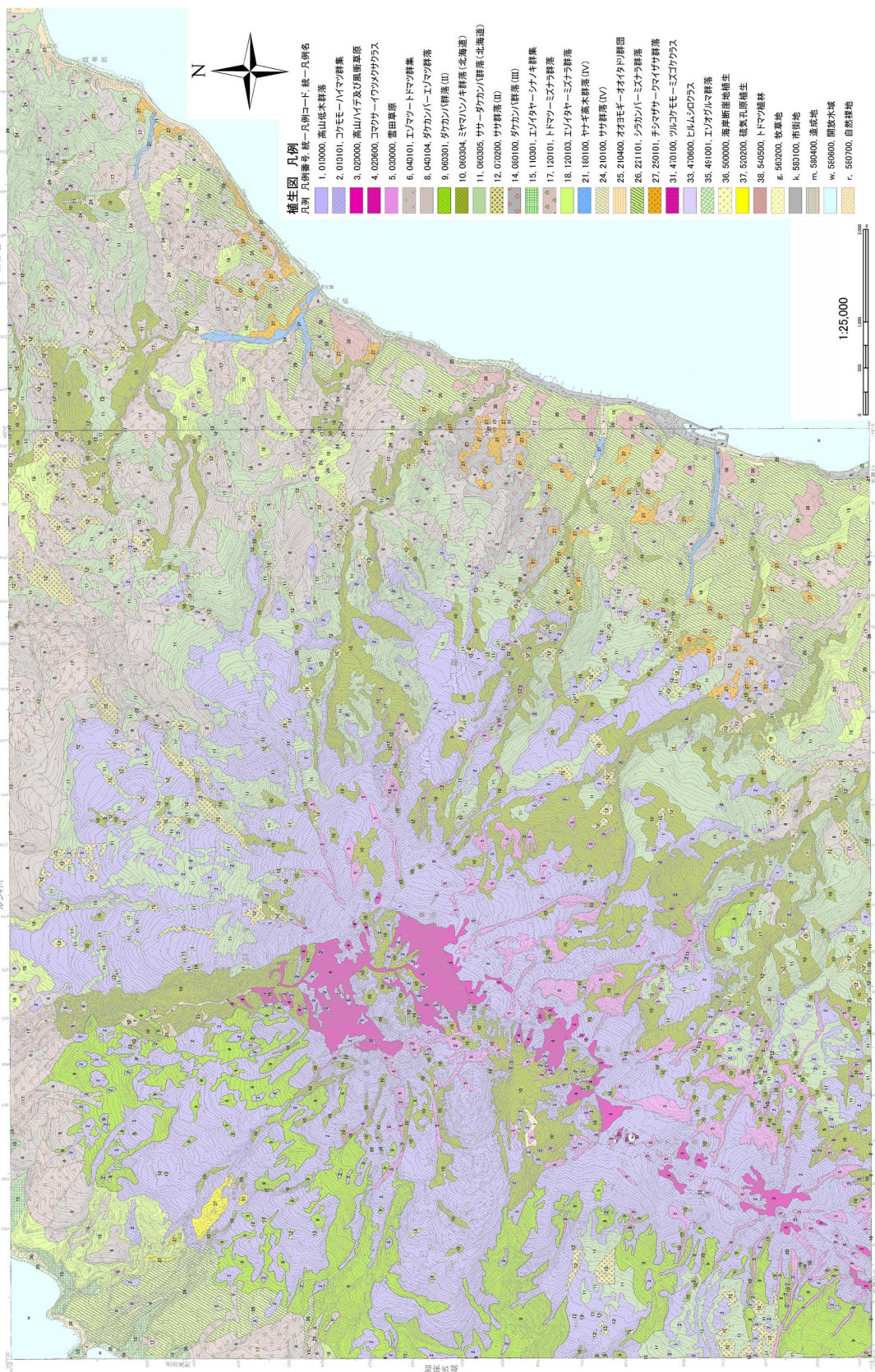


図2 植生図(硫黄山) <http://www.vegetation.jp/miru/6645/664511.html> より引用

<評価>

昭和54~61年度に作成した植生図は1/5万のスケールのため、比較して評価することが困難。